

# 情報教育推進通信

第 72 号 平成 16 年 9 月 8 日  
福部村立福部小学校  
情報教育推進主任 谷口義昌

## 調査結果から見てくるもの

何度か紹介している文部科学省発表の「学校における情報教育の実態等に関する調査結果」から見てくるものについては、今までに少し触れたが、それは都道府県レベルで比較したもの。実は市町村別 ([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/16/07/03072301.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/16/07/03072301.htm)) にもデータが取られていて、公開されている。市と岩美郡のところだけ抜粋すると、以下の表ようになる。

表 1：市区町村別「コンピュータの設置状況」及び「インターネット接続状況」の実態（小学校）

市区町村別	学校数	教育用コンピュータ総台数	教育用コンピュータ平均設置台数	教育用コンピュータ 1 台当たりの児童生徒数	高速インターネット接続学校数	学校の高速度インターネット接続率	普通教室の LAN 整備率
	A	B	B / A	C	D	D / A	
	校	台	台	人 / 台	校	%	%
鳥取市	30	864	28.8	10.2	28	93.3%	0.3%
米子市	23	533	23.2	16.0	23	100.0%	1.9%
倉吉市	13	291	22.4	9.6	11	84.6%	6.0%
境港市	7	200	28.6	11.4	7	100.0%	29.6%
国府町	2	79	39.5	5.2	1	50.0%	33.3%
岩美町	3	137	45.7	5.7	3	100.0%	30.6%
<b>福部村</b>	<b>1</b>	<b>63</b>	<b>63.0</b>	<b>3.5</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>100.0%</b>

**全国の全ての市町村のデータがこうして公開されている**のである。福部村 = 福部小学校である。この調査は 3 月に行われているものなので、学校の高速度インターネット接続に関しては 4 月から県の情報ハイウェイにつながったため、改善されて 100% になっている。それ以外の数値の変動はない。

「教育用コンピュータ 1 台当たりの児童生徒数」は、「児童数/コンピュータ台数」の計算である。つまり全校で換算しても福部小は 3.5 人に 1 台のコンピュータが設置されているということになる。特に**普通教室への LAN 整備率は顕著である**。他の市町村と比べてみれば歴然としている。大きな市と比較すると**いかに岩美郡、福部村がこういった教育環境設備にお金を投資しているか**分かんと思う。すでに述べた「2005 年の教室」の環境整備に普通教室への LAN 整備も含まれている。2005 年も間近なのにこれだけの格差があるのはなぜだろう。それは**これら環境整備に関するお金が地方交付税交付金の中に含まれているから**である。これに関しては国から一括されてくるので、そのお金を実際にどの分野に割り当てるかは自治体しだいなのである。実際は必要性や危急性の高いものにまわされる。はっきり言えば、**コンピュータ用のお金も他のものに使われている可能性**があるということだ。福部はしっかりとコンピュータ用に投資していただいている結果が表にあらわれている。それに対して教師はどのように応えることができるだろう。それはやはり授業も含めて活用するしかないのである。

**デジタルディバイド(情報格差)**という言葉聞いたことがある方もあるだろう。一般的には情報通信技術(IT)(特にインターネット)の恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じる経済格差を指しているが、実はこのように自治体による「情報格差」もあるのである。